

# 岩見沢SA周辺土地活用計画(概要版)

## 計画の背景・目的

- 岩見沢市では、医療支援や物流効率化、観光振興、防災機能の強化を目指すため、岩見沢サービスエリア(SA)へのスマートインターチェンジ(スマートIC)整備に向けた検討を進めています。
- 本整備により、岩見沢SA周辺に位置する市有地等の土地活用が促進されることが想定されます。
- そのため、岩見沢SA周辺エリアにおける土地活用方針及び整備計画(構想)を定めることを目的としています。

## 岩見沢SA周辺エリアの土地活用構想

- 岩見沢市の特性や、関連計画、事業者へのヒアリング調査を踏まえ、「1次計画エリア」、「2次計画(構想)エリア」、「周辺施設」に分け土地活用の方向性及び実現に向けた進め方(案)を検討しました。

### 【土地活用の方向性】

#### 1次計画エリア

##### 土地活用ゾーン

- 官民連携による事業の実施を想定。
- 岩見沢市の観光情報発信・交流広場等の整備・運営。
- 孫別公園と隣接する土地の連携・活用。

#### 2次計画(構想)エリア

##### 民間活力導入ゾーン

- 民間事業者による将来的な事業の実施を想定。
- 広大な敷地と自然環境を活かした交流施設の誘致。(例:農業・教育、スポーツ・宿泊施設、複合アウトドア施設、再エネ施設等)

#### 周辺施設

##### 情報発信・連携

- スマートIC周辺のアクティビティ施設との連携。(例:ワイナリー、キャンプ場、利根別自然公園、ゴルフ場、スキー場、遊園地等)
- 新病院への迅速な救急搬送、リニューアル予定の水明公園との連携

### 【土地活用の実現に向けた進め方(案)】

#### 1次計画

- スマートICの整備と市街地を結ぶ道路の整備
- ◆岩見沢SAにスマートICを整備。
- ◆上記のスマートICから東17丁目通までを結ぶアクセス道路の整備。
- SA周辺地域の認知向上及び誘客
- ◆孫別公園への機能立地及び周辺施設への誘導・誘客
- ◆孫別線(宝水ワイナリーアクセス道路)の整備

#### 2次計画(構想)

- SA周辺エリアの周知及び価値向上
- ◆岩見沢SA周辺エリアと既存観光・交流施設(周辺施設)との連携促進
- ◆遊休地(競馬場跡地等)の活用に向けたサウンディング調査の実施
- SA周辺エリアの土地活用の推進・集客力(交流人口)の増進
- ◆遊休地(競馬場跡地等)における事業化の推進

## 岩見沢SA周辺エリアの土地活用計画

- 土地活用構想にて、土地活用ゾーンと設定した孫別公園について土地活用計画を検討しました。

### 基本コンセプト(案)

岩見沢の魅力を伝える 新たな交流拠点  
～地域資源を活用した、岩見沢SA周辺の賑わいづくりに向けて～

#### 整備方針1 岩見沢SA周辺エリアにおける新たな交通結節点の整備

- 岩見沢SA周辺エリアの土地活用を進める為に、岩見沢SAに近接する孫別公園において、新たな交通結節点として、交流施設や駐車場を整備する。

#### 整備方針2 岩見沢市でしか買えない土産品や特産品を購入できる機能の導入

- 岩見沢市外の来訪者に対し、岩見沢市ならではの土産品や土産品を知ってもらう・購入してもらえるよう、地域の土産品や土産品を購入できる機能を導入する。

#### 整備方針3 岩見沢市内の既存の観光・交流施設への誘導

- 岩見沢SA周辺にある既存の観光・交流施設の利用促進に向け、地域の観光等の情報を発信できる機能を導入する。

### 【基本コンセプト及び整備方針を踏まえた導入機能】

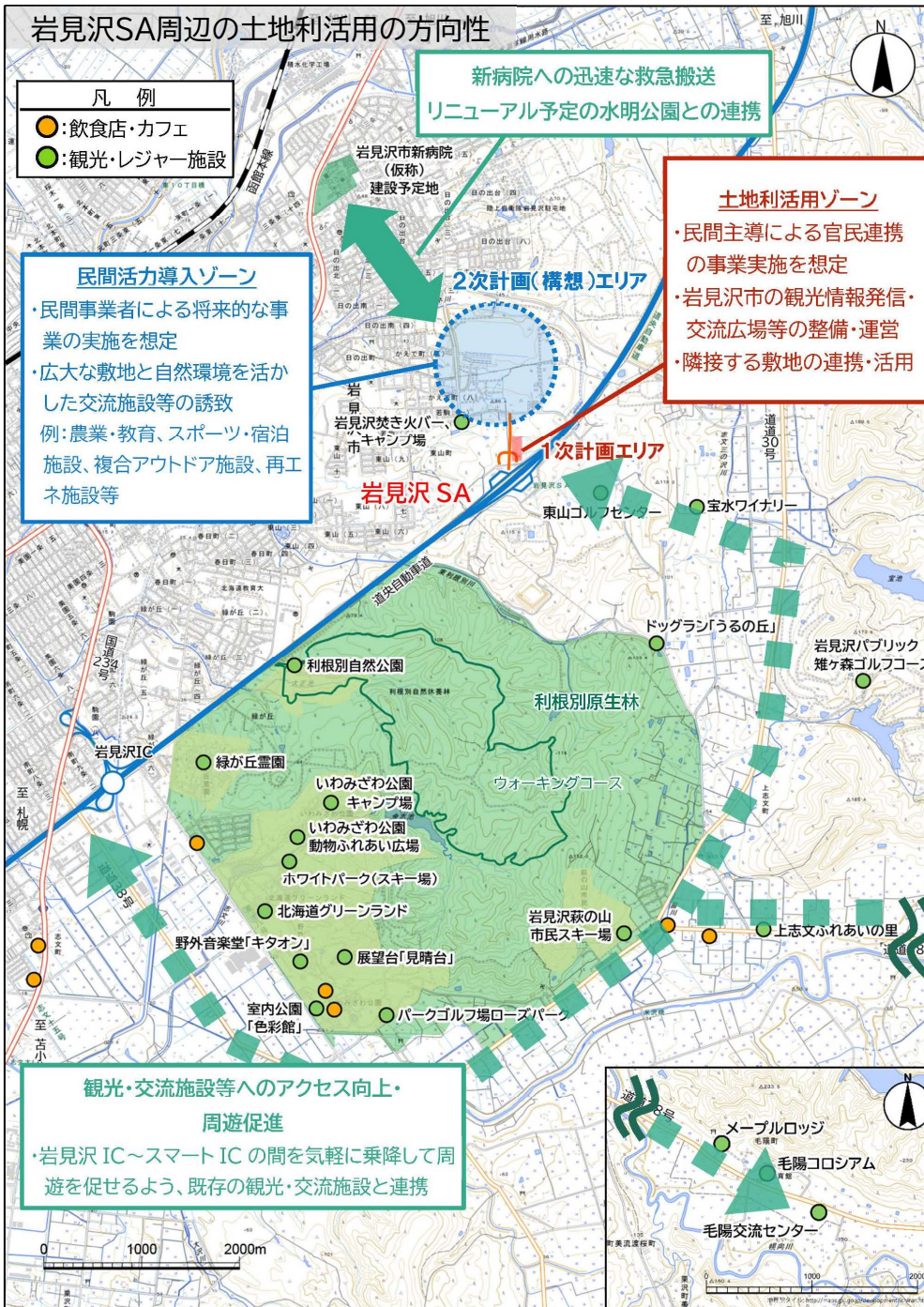
情報発信機能

物販機能

交流機能

休憩機能

交通結節機能



## 土地活用計画の実現に向けて

### 【関係機関との連携】

- スマートIC整備に向けた関係機関との協議継続
- 市内の連携体制の構築  
→アクセス道路(岩見沢サービスエリア線、孫別公園線、孫別線)の整備や既存の観光・交流施設との連携が必要となるため、道路分野や観光分野等の関係部署が連携して取り組めるよう市内の連携体制を構築し、継続的に協議を行います。

### 【民間事業者との連携】

- 「孫別公園」の事業化に向けた検討  
→事業手法の検討、市及び民間事業者の役割分担の明確化を進めるとともに、スマートICの整備スケジュールにあわせて、民間事業者との対話を行い、官民連携による事業化の検討を行います。
- 「遊休地(競馬場跡地)」の事業化に向けた検討